

(様式5)

市民意見募集手続の結果について

1 計画等の案の名称 第3次上田市食育推進計画(案)

2 募集期間 令和5年11月28日(火曜日)から令和6年1月4日(木曜日)まで

3 実施結果

(1) 件数 5件(3人)

(2) 提出方法

持参	郵便	電子メール	ファクシミリ	計
0件(0人)	0件(0人)	5件(3人)	0件(0人)	5件(3人)

(3) 意見の区分

種別	内容	件数
(ア) 計画案に反映する意見	意見等の内容を踏まえ、案の修正等を行ったもの	0件
(イ) 計画案と趣旨同一の意見	意見等の趣旨が、案に盛り込まれているもの	3件
(ウ) 参考、検討とする意見	事業等の実施段階で、参考・検討とするもの	0件
(エ) その他	その他の意見	2件
合計		5件

4 意見に対する市の考え方

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	(イ)	地元のことを知り、誇りに思う市民を増やすことは必要だと思うので、引き続き、食育の推進をする中で、地元農産物の啓発をお願いしたい。	地元農産物に対する理解を深めるとともに、その特徴や調理方法などの情報を発信します。また農業関係者や食生活改善推進協議会と連携して、地元農産物や郷土食・伝統食の次世代への継承を推進してまいります。
2	(イ)	食に対する意識を高め、正しい知識を身に付け、健康的な食生活を送ることができる力と、食材の生産・加工・流通から廃棄、並びに食文化などの多くの情報の中から必要な情報を選択し活用することができる力の向上を目指す取組が必要である。	「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力の習得、「食」を通して豊かな心を育てることができるよう、食育を推進してまいります。

3	(イ)	正しい知識の習得により、安心安全な食生活ができる判断力、望ましい食習慣、生命や自然を尊重する精神や環境保全に寄与する態度を養う必要がある。 またそのための指標の設定が必要である。	「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力の習得、「食」を通して豊かな心を育てることができるよう、食育を推進してまいります。 指標については、「食育に関心を持っている人の割合」で達成度を図ってまいります。
4	(エ)	農薬の問題は大きく、コメをはじめ、多くの野菜でネオニコチノイド農薬が使われている。有機農産物を給食に取り入れていく必要がある。	保育園、学校での給食提供の際は、使用する食材について安全・安心に配慮した基準を設けており、基本的には国産でなるべく地元農産物を使用し、安心・安全な給食の提供に努めております。
5	(エ)	ネオニコチノイド農薬、遺伝子組み換え、ゲノム編集食品でない食品の給食導入が必要である。	保育園、学校での給食提供の際は、使用する食材について安全・安心に配慮した基準を設けており、基本的には国産でなるべく地元農産物を使用し、安心・安全な給食の提供に努めております。